

地域社会と共に



地域社会と共に歩み、地域社会と共に発展するために。

私たちは、全国の郵便局ネットワークを通じ、皆さまの生活の基盤を支える社会インフラとしての役割を着実に果たし、地域から愛され、お客さまから選ばれる日本郵政グループを目指します。

日本郵政グループの概要

目次・編集方針

日本郵政グループ トップメッセージ

特集

サステナビリティマネジメント

環境マネジメントシステム

地球と共に

地域社会と共に

人と共に

コーポレートガバナンス

方針・データ集

第三者意見

外部への情報発信



- 郵便局ネットワークの維持とユニバーサルサービスの提供
- EC市場の拡大に対応する強靱な物流インフラの構築
- 地域ニーズに応じた多種多様な商品・サービス等の提供による地域課題の解決
- ローコストオペレーションの徹底による持続的なユニバーサルサービスの提供
- 地域への資金循環



● CSR重点課題

地域社会の発展・活性化



誰もが安心して暮らせる、持続可能な社会のために

都市部では人口集中による過密化が進む一方で、地方都市では高齢化や過疎化が加速しています。特に地方の活力の維持は深刻な課題のひとつ。どこに住んでいても、誰もが必要なサービスを受けられて、災害に強く安全で持続可能なまちづくりが求められています。

トピックス: 次世代モビリティを活用した物流効率化の取り組み

日本郵便では、労働人口の減少や地方の過疎化などの社会課題、荷物需要の増加といった事業環境の変化に対応し、今後も安定的で持続可能な郵便・物流サービスの提供を実現するため、ドローン、配送ロボット、自動運転、配達業務へのAI活用などの新技術を活用した取り組みを行っています。今後も、事業を取り巻く環境の変化やテクノロジーの動向等に応じた検討を、引き続き推進します。

配送ロボット



2018年度から福島県南相馬市および双葉郡浪江町において、2019年度には東京都の日本郵便本社オフィス内において、配送ロボットの実証を実施しています。

2021年3月には、実際にお客さまがお住まいのオートロックシステム付きマンションで、複数台のロボットを活用した配送試行を行いました。

ロボットはマンションの入り口で配達員から荷物を受け取ると自律で走行しお客さまのお宅に向かいます。ロボットはエレベーターと連動しており、今回の配送試行ではエレベーター内でのお客さまとの同乗を行いました。ロボットにはセキュリティーロック機構を備えており、配達先に到着するとお客さまのSNSに暗証番号が届きます。通知された暗証番号をロボットに入力するとロボットの蓋が開き、荷物を受け取ることができます。

日本郵便では、今後も新しい技術と物流の融合を図る取り組みを進めてまいります。

これまでの配送ロボットの実証について

2018年度には福島県南相馬市および双葉郡浪江町において、2019年度には東京都の日本郵便本社オフィス内において、配送ロボットの実証を実施。周辺状況を認識し、自律的に目的地に移動する配送ロボットによるラストワンマイル※の配送実証を行うことで、その可能性を検証しました。

※物流分野における配送拠点からお客さまの手元に荷物が届くまでの区間。

実際の道路、配送環境に合わせた配送実験(2018年度)

福島県南相馬市および双葉郡浪江町において、実際の道路環境や配送環境に近い自動車学校および災害公営住宅での配送ロボットによる無人配送の可能性に関する実証実験を行いました。



ビル内での社内便配送試行(2019年度)

日本郵便本社オフィス(東京都)内において、配送ロボットがエレベーターと連動してフロア間を移動することによる社内便の配送の試行を行いました。



日本国内初、公道での実証実験(2020年度)

東京都千代田区内の東京通信病院から麹町郵便局間を走行する、公道での実証実験を日本国内で初めて実施しました。



オートロックシステム付きマンション内での配送試行(2020年度)

オートロックシステム付きマンション(千葉県)内にて、複数台の配送ロボットがエレベーターおよび運行管理システムと連動して荷物を配送する実証実験を行いました。



トピックス: 地域活性化ファンド

ゆうちょ銀行は、お客さまからお預かりした大切な資金を、地域に循環させていくために、多様な枠組みを通じた資金供給により、地域活性化への貢献に努めています。特に、2016年7月より、地域金融機関との連携を通じて「地域活性化ファンド」へ参加し、2021年3月末までに累計32ファンドに参加しています。また地域ファイナンスの取り組みでは、地方債や地方公共団体貸付をはじめ、プロジェクトファイナンスの協調融資にも参加しており、今後も地域のリスクマネー・ニーズにも応えてまいります。



トピックス: 社会ニーズに対応した不動産開発事業

日本郵政グループは、これまで築いてきた地域社会との信頼関係を大切にしながら、待機児童や高齢社会という社会課題に配慮した保育所および高齢者施設の建設や、都市部における商業施設・オフィス・住宅等の大型複合施設による地域開発など、地域の特性や社会背景、事業性などを踏まえて、地域の発展に貢献する不動産事業を行っています。



にじいろ保育園 北砂
(東京 2020年4月開園)



ベネッセ練馬えこだ保育園
(東京 2020年4月開園)



グランダ常盤台式番館
(高齢者施設: 東京 2020年3月運営開始)



梅田 3丁目計画(仮称)
(大阪 2024年竣工予定)



広島駅南口計画
(広島 2022年竣工予定)



蔵前一丁目開発事業
(東京 2023年竣工予定)

郵便局スペースを活用した不動産事業

大磯郵便局スペースを活用した保育所およびコワーキングスペースの設置



日本郵便は、地域の皆さまからの要望を受け、待機児童、働くスペースの不足および地域コミュニティの希薄化など地域が抱える課題の解決を目指し、大磯郵便局の一部空きスペースを株式会社Co. Labに賃貸※1することで、認可小規模保育施設(以下「保育所」と)コワーキングスペースを設置しました。

青葉台郵便局スペースを活用したコミュニティラウンジ、小規模オフィスなどの開業



日本郵便は、横浜市と東急株式会社が連携し取り組む「次世代郊外まちづくり」で目指すまちの姿「コミュニティリビング」の推進に協力するため、青葉台郵便局の一部空きスペースを東急株式会社に賃貸※2し、コミュニティラウンジ、小規模オフィスなどを設置しています。

- ※1 日本郵便と株式会社Co. Labは定期建物賃貸借契約を締結しています。
- ※2 日本郵便と東急株式会社は定期建物賃貸借契約を締結しています。

その他の取り組み

日本郵政グループは、誰もが安心して暮らせる、持続可能な社会のためにさまざまな取り組みを行っています。

- ドローンによる配送試行を実施 □自動運転車の実証実験を実施
- オープンイノベーションプログラムの実施 □AIによる配達業務の効率化
- 地方創生・地域社会への貢献に関する協定の締結 □郵便局における行政サービスの提供
- 地域社会の活性化に向けた取り組みの強化を目的とした東日本旅客鉄道株式会社との連携協定の締結
- 各金融機関との連携 □マイナンバーカードの普及促進 □外国人のお客さまに対するご案内の充実
- 16言語対応小型ATMの導入 □日本型郵便インフラの海外輸出
- 地域産品の国内における販路拡大支援 □「ふるさと応援寄付金事業(ふるさと納税)」のサポート
- 障がい者アーティストの支援

○ その他の取り組み

● CSR重点課題

次世代育成



未来を担う子どもたちのために

今、日本の子どもの7人に1人が相対的貧困状態にあるといわれています。教育は人々の生活改善には欠かせないもの。家庭の経済状況に左右されることなく、誰もが質の高い教育を受けられることが大切です。同時に、持続可能な社会づくりに必要な、体系的な思考力やコミュニケーション力などの育成も必要とされています。

トピックス：ゆうびんきょくキッズサイト



日本郵便は、手紙や郵便局のことを楽しく学んでいただくことを目的に、日本郵便Webサイト内に子ども向けコンテンツ「ゆうびんきょくキッズサイト」を開設・運営しています。

2021年7月には、一般社団法人日本子育て支援協会の主催する2021年度「日本子育て支援大賞」を受賞しました。

■ゆうびんきょくキッズサイト■ - 日本郵便

トピックス：ゆうちょ金融教室



ゆうちょ銀行は、小・中学生を対象に、学校への出前授業などで金融教室を開催しています。

オリジナルの教材を使用して、お金の大切さ、お金との付き合い方を伝えることで、子どもたちが正しい金銭感覚を身に付けられるよう育成をお手伝いしています。

電子マネーの普及など、お金に関して子どもを取り巻く環境が大きく変わっている中、青少年がお金のトラブルに巻き込まれるケースが増えていることから、社会の各方面から金融教育を求める声が高まっています。

地域の中で伸び伸びと育つ子どもたちにお金の大切さを伝え、お金との付き合い方をしっかりと学んでもらうこと、それこそが地域に根ざした金融機関であるゆうちょ銀行が果たすべき社会的責任であると考えます。

2014年～2020年までの7年間の間に、全国の小・中学校などでのべ500回実施をしました。



■金融教育■ - ゆうちょ銀行

トピックス：「第75回全日本学生音楽コンクール」への協賛

かんぽ生命保険は、音楽文化の発展と、夢に向かって挑戦する学生を応援したいという想いから、株式会社毎日新聞社が主催する「第75回全日本学生音楽コンクール」の趣旨に共感し、本コンクールに協賛しています。本コンクールは、音楽を楽しむ心を培うとともに演奏技術の向上を促し、公正な審査によって世界を舞台に活躍する若い才能を発掘して音楽文化の発展に寄与するという趣旨のもと、実施されています。

■全日本学生音楽コンクールについて■

その他の取り組み

日本郵政グループは、誰もが安心して暮らせる、持続可能な社会のためにさまざまな取り組みを行っています。

■職場体験・職場見学

■ゆうちょアイデア貯金箱コンクール

■手紙文化の振興

■全国小学校ラジオ体操コンクール

○ その他の取り組み





● CSR重点課題

健康的な暮らしの促進



あらゆる年齢の人々が健康的でいきいきと暮らすために

高齢化が進むにつれて、医療や介護サービスを必要とする人は急増すると考えられています。社会保障費の圧迫を改善するため、何より人々がいきいきと生活するため、健康寿命の延伸が叫ばれています。

トピックス: 薬局との連携

新型コロナウイルス感染症の影響により、医療提供体制が急速に変化する中、日本郵便は各薬局と連携し、処方箋医薬品のご自宅への配送等に取り組んでいます。安全かつ迅速な医薬品流通ネットワークの構築を目指し、地域医療を支えてまいります。

提携企業	取り組み
株式会社アインホールディングス	下記の実証実験を実施(実施期間:2021年3月16日~同年5月17日) <ul style="list-style-type: none">東京都葛飾区内にお住まいの患者さまに対して、対象の薬局(葛飾区内5店舗)において処方箋で受け付けた医薬品を「ゆうパック」で当日中に配送。
株式会社スギ薬局	下記の実証実験を実施(実施期間:2021年4月1日~同年9月30日) <ul style="list-style-type: none">店舗で処方箋を受け付けた医薬品を「ゆうパック」「ゆうパケット」でご自宅まで配送。残薬管理を支援するため、スギ薬局の専用回収キットを用いて、自宅にある残薬をスギ薬局店舗に配送。
株式会社トモズ	<ul style="list-style-type: none">日本郵便の通販サイト「郵便局のネットショップ上」に、ドラッグストア専用ページを開設。 <p>■ドラッグストア 郵便局のネットショップ[®] - 日本郵便</p>

トピックス: 健康応援アプリ「すこやかんぼ」

超長寿社会の到来に伴い、生命保険事業に求められる役割は、病気・ケガで入院などをされた際に保険金をお支払いするという従来型サービスの提供に加え、病気・ケガの予防または健康の増進・維持に資するサービスの提供が求められる時代へと変化しています。

かんぼ生命保険としても、こうした役割を担うため、健やかに豊かな人生づくりの支援に積極的に取り組んでおり、そのひとつとして、手軽に健康づくりに取り組める健康応援アプリ「すこやかんぼ」を展開し、どなたでもご利用いただける「スタンダードメニュー」と、保険契約者さまと被保険者さまのほか、そのご家族を対象としてより充実したコンテンツを備えた「プレミアムメニュー」をいずれも無料で提供しています。

2021年7月から10月にかけて実施した、擬人化された細胞たちの姿を描く人気アニメ「はたらく細胞」とのコラボレーションなど、楽しい企画とも絡めながら、今後も歩くことやラジオ体操等、運動習慣の大切さを伝えてまいります。

■かんぼ生命の健康応援アプリ「すこやかんぼ」[®] - かんぼ生命



トピックス: ラジオ体操の普及促進

ラジオ体操は90年以上の歴史があり、「いつでも、どこでも、だれでも」気軽にできる体操として、多くの方に親しまれています。

みんなの体操は、「ユニバーサルデザイン」という考え方を取り入れて、年齢・性別・障がいの有無を問わず、幅広い人々を対象として楽しく安心してできる体操として考案されました。

かんぼ生命保険は、地域の皆さまの健康づくりにお役立ていただけるよう、NHK(日本放送協会)およびNPO法人全国ラジオ体操連盟と共同でラジオ体操・みんなの体操の普及促進に努めています。



夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会 / 特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会

毎年7月20日から8月31日までの43日間、全国の会場で「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催しています(「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」の開催日を含みます)。夏休み期間中にラジオ体操をする風景は、日本の夏の風物詩として浸透しています。また、毎年4月から10月末の日曜日や祝日を中心に、「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を全国の会場で開催しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった「2020年度巡回ラジオ体操・みんなの体操会」の開催予定地であった自治体にご協力いただき、「デジタル巡回ラジオ体操会」として、各地域におけるラジオ体操動画を制作しました。かんぼ生命保険のラジオ体操チャンネル(YouTube)にて配信しています。

なお、医療従事者および感染拡大防止に関する活動の支援として、本施策で配信したYouTube動画の再生回数1回につき10円を日本赤十字社に寄附しました。

- ラジオ体操・みんなの体操の普及促進[®] - かんぼ生命保険
- ラジオ体操チャンネル【かんぼ生命公式】[®] - かんぼ生命保険

ラジオ体操の取り組みは、動画でもご紹介しています。

- ラジオ体操による健康づくり支援【サステナブルムービー】



トピックス: 通信病院の取り組み

日本郵政が運営している通信病院(ていしんびょういん)では、地域に根差した病院として、地域の診療所や病院と緊密な連携のうえ、良質な医療の提供を行うとともに地域社会に貢献しています。また、地域の皆さまの健康を維持していくうえで参考になる情報を掲載した「病院だより」の発行や健康増進を図るための各種疾病に関する「公開講座」「健康教室」等を開催しています。



東京通信病院が「World's Best Hospitals 2021」に選出

米国週刊誌「Newsweek」による、世界基準の優良な医療機関を評価したランキング「World's Best Hospitals 2021」の日本版に、東京通信病院が2019年度、2020年度に引き続き3年連続で選出されました。このランキングは世界25か国を対象としており、日本国内では163病院が選出されています。

- 通信病院 [☞通信病院](#)
- 東京通信病院が「World's Best Hospitals 2021」に選出されました [☞](#)

その他の取り組み

日本郵政グループは、誰もが安心して暮らせる、持続可能な社会のためにさまざまな取り組みを行っています。

- みまもりサービス
- かんぼプラチナライフサービス
- 終活紹介サービス
- 乳がんの手術をした人などが周りを気にせず入浴できる「入浴着」の無料レンタル(かんぼの宿)

その他の取り組み

スポーツを通じた社会貢献

日本郵政グループは人生100年時代の「一生」を支える活動の一環として、女子陸上部の運営やかんぽ生命保険社員の車いすテニスプレイヤー大谷桃子選手の支援をはじめ、スポーツやパラスポーツへの協賛・支援を行っています。これからも、全国2万4,000の郵便局と40万人のグループ社員を抱える郵政ネットワークを活用して競技や地域に根差したチーム・アスリート等の盛り上げに取り組み、地域の活性化やダイバーシティ社会の実現に貢献してまいります。

スポーツに対する主な協賛活動

契約主体	協賛先(概要)
日本郵政	株式会社楽天野球団(オフィシャルスポンサー)
	公益財団法人 日本バスケットボール協会(3x3 バスケットボール日本代表等への協賛)
	一般社団法人 日本ゴールボール協会(オフィシャルパートナー)
日本郵便	公益社団法人 ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(B. LEAGUE パートナー)
かんぽ生命保険	一般社団法人 日本車いすテニス協会(トップパートナー)



障がい者支援の取り組み

東京2020オリンピック・パラリンピックへの協賛

東京2020大会の熱気を伝え、日本全国での盛り上げに貢献しています。



東京2020への取組

東京2020オリンピック聖火リレーへの協賛

サポーターパートナーとして郵便事業を通じて、日本全国に張り巡らされた郵便局ネットワークを活用し、聖火リレーの盛り上げに貢献しています。



日本郵便 東京2020オリンピック聖火リレー 特設ページ

女子陸上部の活動

「人から人へとタスキをつなぐ駅伝」と「人から人へと手紙を届ける郵便」は、親和性が高く、社員が一体感を持って応援できることなどから、2014年4月より女子陸上部を創設し、運営を行っております。所属選手は日本郵政グループ各社に所属しており、実業団駅伝女子日本一を競う「全日本実業団対抗女子駅伝競走大会(クイーンズ駅伝in宮城)」に2015年より6年連続で出場し、2016年(第36回)に初優勝。2019年(第39回)にも3年ぶり2度目の優勝を、2020年(第40回)では大会新記録で優勝し二連覇を果たすなど、活躍しています。

個人においても、鈴木亜由子選手と廣中璃梨佳選手がそれぞれ東京2020オリンピックのマラソン(女子)日本代表、女子5000m、10000m日本代表となり、鈴木亜由子選手がマラソン(女子)で第19位、廣中璃梨佳選手は女子5000mにおいて第9位(日本新記録)、女子10000mにおいては第7位入賞(日本歴代4位記録、同種目日本人25年ぶりの入賞)と、優秀な成績を収めています。



クイーンズ駅伝(集合写真)

大会結果

日本郵政グループ女子陸上部